



1. 古澤丈作氏を顕彰する記念碑が完成

JR 栃木駅前の北口公園にこのたび「古澤丈作顕彰碑」が完成し、地区大会中の11月9日に行われた除幕式には、川嶋幸雄ガバナーや古澤丈作氏のご子孫、栃木市長、地区米山奨学委員長など多数が参列、米山奨学生・学友も翌日同顕彰碑を訪れました。



古澤丈作氏は、東京RC会長を務めていた1952年に「米山基金」の構想を発表、これが現在のロータリー米山奨学金となって現在まで

続いています。栃木県栃木市出身である氏の功績を讃え、さらに多くの方々に知っていただきたいという第2550地区ロータリアンの思いから、川嶋ガバナー年度の一大事業として建立されたとの

こと。碑には、ロータリーにおける氏の代名詞ともいえる「大連宣言」の全文と、数ある偉業の一つとしてロータリー米山記念奨学事業について刻まれています。(写真は真岡西RC 幹事様提供)

2. 2020年の年賀状は学友がデザイン

当会事務局では、評議員、理事、地区米山記念奨学委員長、学友、他団体などへ毎年約4,600枚の年賀状を送っています。今回は、アニメーション制作スタジオに勤務している米山学友、麦嘉輝さん(2017-18/尼崎西RC)が年賀状のデザインをしてくださいました。



【麦さんからのメッセージ】

暦上は令和2年になりますが、年賀状に「令和」を載せるのは今回が初めてです。こんなに貴重な一枚をデザインさせていただき、誠にありがとうございました。来年は子年です。日本神話では、ネズミは「大黒天の使者」とされていますので、モチーフとして福槌をネズミのキャラクターに持たせました。「鼠歳祥瑞」——、この新たな一周の始まりに私は鼠に化し、福槌を持ちながら、皆様の悪運をぶっ飛ばし、たくさんの福と幸運を運んでまいります。



この年賀状は、米山学友の麦嘉輝さん(2017-18/尼崎西RC)がデザインしました。ロータリー米山記念奨学金は、日本全国のロータリークラブ会員が支える外国人留学生支援制度です。これまでに129の国と地域から21,023人を支援してまいりました。旧年中のご厚誼に感謝いたしますとともに、新しい年が皆さまにとって、さらにすばらしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

2020年 元貝
理事長 齋藤 直美
事務局長 岩邊 俊久

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 2020
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 墨堤芝公園ビル3階

3. 寄付金速報 — 今年もあと半月、送金はお早目に —

11月までの寄付金は前年同期と比べて2.8%減(普通寄付金:0.2%減、特別寄付金:4.1%減)、約2,000万円の減少となりました。前年度は大口寄付があったため、先月よりも更に減少額が大きくなったものの、過去10年間の同期平均額と比較すると2,300万円ほど上回って

います。皆様からのご支援に厚く御礼申し上げます。12月30日(月)までに着金した寄付金については、来年1月末までにクラブ宛に確定申告用領収証を発送します。お早目のご送金をお願いいたします。

4. 韓国米山学友会総会 — 国境を越えた歓迎の場 —

韓国米山学友会の総会が11月16日にソウル市内で開催され、学友42人のほか、韓国や日本のロータリアン、関西米山学友会や台湾米山学友会からも会員が駆けつけ、総勢79人が参加しました。

第一部は、^{ジョンピョンデ}全炳台会長の挨拶、韓国ロータリー奨学文化財団理事長であり第3650地区パストガバナーのコ・ソンド氏の祝辞につづき、台湾米山学友会などへ感謝状が授与されたほか、関西米山学友会の何玉翠さんと林小微さんへ名誉会員証が授与されました。また、韓国米山学友会の現況・会計報告、今後の計画が発表されました。第二部では、同学友会が支援する日本人大学生3人に200万ウォンの奨学金が授与されました。

日本から参加した第2580地区ガバナー補佐の猪飼昭彦氏は、「海外の学友会には、日本全国のクラブでお世話を受けた学友が集まり

ます。クラブ、地区、国さえも越えた歓迎と再会の場であり、彼らは何らかの形で日本との懸け橋になっていることを必ず実感することができます。日韓関係の波にかかわらず、継続して日本の学生を支援してくれていることも、彼らの恩返しであり懸け橋。心からのありがとうを申し上げたい」と、語っていただきました。なお、全会長は第3650地区に新クラブ「ソウルブースト コリアRC」を設立、12月20日にチャーターナイトを迎えるとのことです。



5. 台湾米山学友会総会 — 日本人奨学生とも絆繋ぐ —

台湾米山学友会（扶輪米山会）の年次総会が11月30日、台北市内で開催されました。台湾の学友・家族のほか、当会の齋藤直美理事長はじめ、多数のロータリアンと、韓国学友会や関西学友会（第2660地区）など、国内外の学友も参加し、総勢150人以上が交流を深めました。

式典で、郭錦堂理事長（1984-86／相模原中RC／台中文心RC創立会長）は、日本のロータリアンと歴代米山会理事長に対する感謝を述べ、学友に向けて「われ

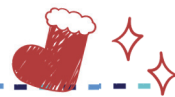


われは体内に、社会に献身的に奉仕する米山の精神を携えた遺伝子を受けました。これからロータリアンの芽として、多くの奉仕活動に積極的に参加しましょう」と呼びかけました。

また、2009年から実施する台湾の大学・大学院で学ぶ日本人留学生を対象とした奨学金の2019-20年度奨学生6人が壇上で紹介され、その場で郭理事長から奨学金が授与されました。さらには、同奨学金の学友3人が、それぞれ中国語で近況を報告。奨学期間を終えても絆を繋ぐ米山奨学金の真髓が受け継がれている様子に、会場から大きな拍手が送られました。



申告用領収書は来年1月にお送りします



ロータリー米山記念奨学会へのご寄付は税制優遇を受けることができ、「**税額控除**」か「**所得控除**」いずれか**有利な方式を選択**できます。今年1～12月に寄付をした方には、来年1月末までに申告用領収書をクラブ経由でお送りします。**12月30日（月）当会着金分までが対象です。**

米山記念奨学会事務局は、12月28日（土）～1月5日（日）の間休業させていただきます。来年は1月6日（月）より通常業務となります。

